

令和元年度 学校評価結果概要

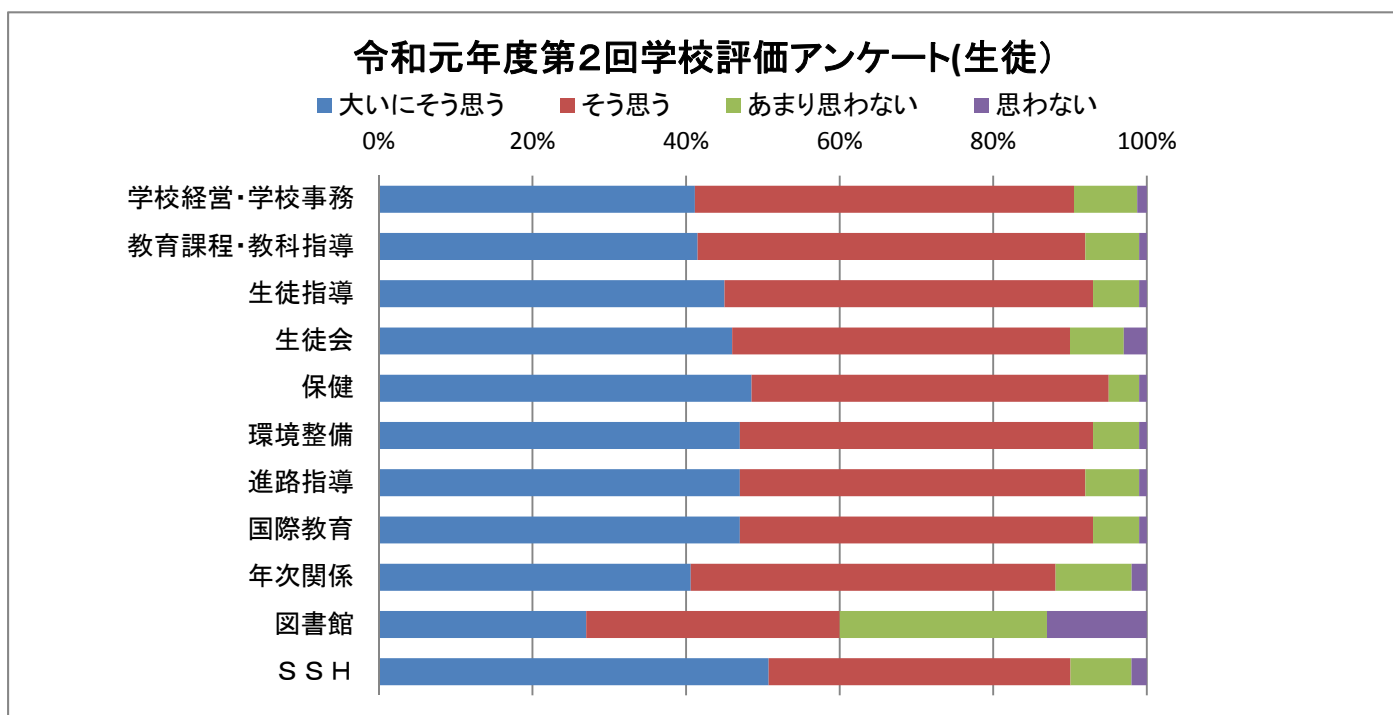
1 学校評価の方法

- 時期 令和元年7月(第1回)及び12月(第2回)
- 評価者 生徒、教職員及び保護者
- 方法 学校改善・点検シートにより達成度を4段階で評価する。

2 第2回学校評価結果(令和元年12月実施)

(1) 生徒アンケート結果の概要について

- 対象生徒数: 692名
- 回収者数: 659名(回収率: 95.2%)
- 質問項目数: 18
- 質問項目を評価項目ごと分類・集計した結果は次のとおり。



※調査項目18項目で、肯定的な評価の平均は90.0%(昨年比 +1)

※調査項目数を削減し、内容も一部修正した(項目数は昨年比 -14)

- 肯定的な評価が特に高い項目(95%以上) 今年(昨年比)
 - ・生徒の心身の健康に関する指導が行われている。 96%(+1)
 - ・進路意識を高めるため、講演会の設定やオープンキャンパス情報の提示が有効になされている。 95%(-1)
 - ・SSHの活動により、理数系の教科・科目への興味・関心が深まった。 97%(+20)
- 肯定的な評価が低かった項目(80%未満) 今年(昨年比)
 - ・図書館がHR活動や授業で有効に活用されている。 60%(+5)

○生徒自己評価において評価が特に高い項目（95%以上）

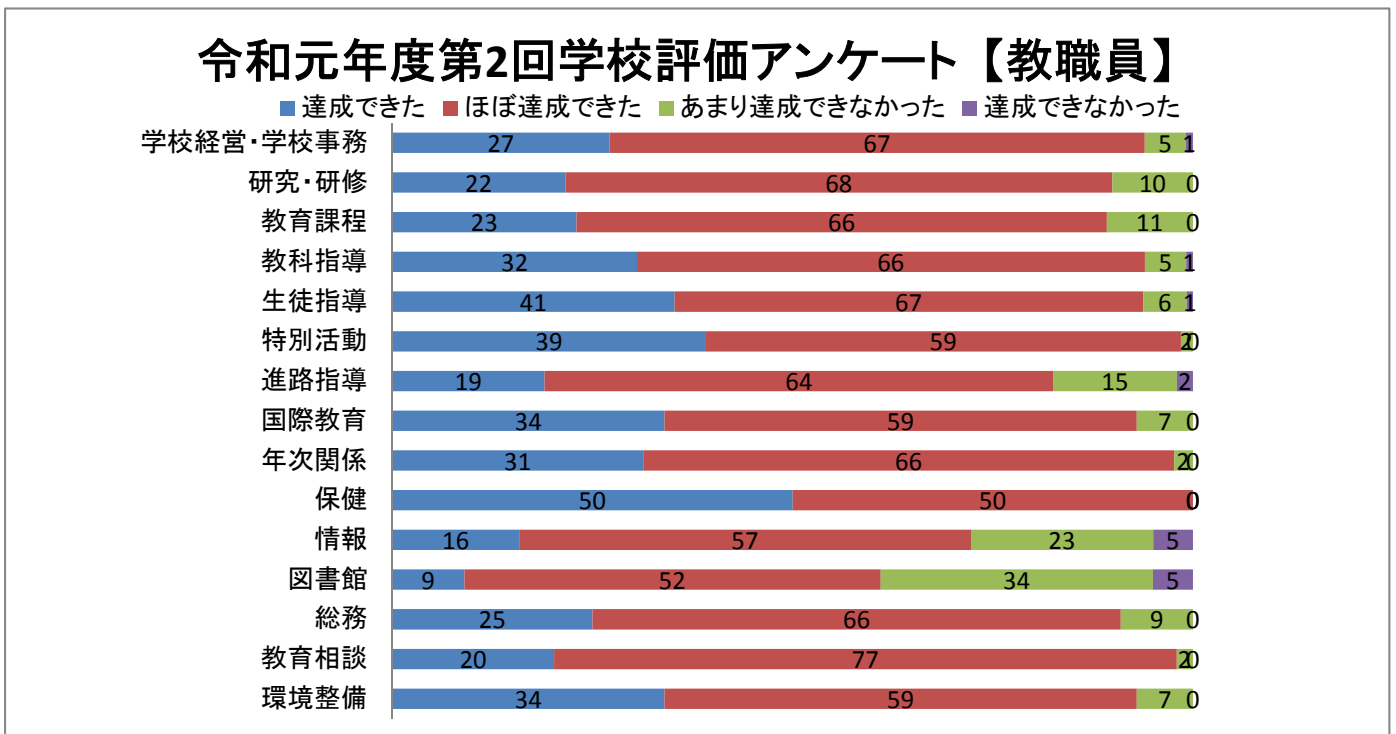
- ・自分から積極的に挨拶している。 95%（±0）
- ・時間を守るように努めている。 97%（±0）
- ・服装、頭髪などの規定をしっかりと守っている。 97%（-1）
- ・校内での携帯電話、スマホ等の使用ルールを守っている。 98%（+1）
- ・交通安全について、規則を守るよう心がけ、安全に配慮している。 98%（±0）
- ・SNS等への書き込みや、冷やかしからかいは日ごろから意識して慎んでいる。 99%（+3）
- ・学園祭などの学校行事に積極的に参加し、活動している。 97%
- ・環境美化、清掃活動に積極的に取り組んでいる。 98%（+4）
- ・節電、節水などエコ活動に積極的に取り組んでいる。 95%（-1）
- ・課外、サタデーサプリー、模擬試験等に意欲的に取り組んでいる。 95%（±0）

●生徒自己評価において肯定的な評価が低かった項目（80%未満）

- ・授業の予習や復習は、しっかりと行っている。 73%（+3）
- ・自習室を積極的に利用している。 55%
- ・家庭学習時間は、年次+1時間程度を実行している。 53%（±0）
- ・進路意識を高めるための講演会、各種1日体験・講座やオープンキャンパス等にすすんで参加している。 76%（-2）
- ・Classiを積極的に活用している。 75%（+1）
- ・読書、学習、調査のために利用するなど、図書館を有効に活用している。 47%（-1）

(2) 教職員アンケート結果の概要について

- 対象教職員数：49名
- 回収者数：45名（回収率91.8%）
- 質問項目数：38
- 質問項目を評価項目ごと分類・集計した結果は次のとおり。



※調査項目 38 項目で、肯定的な評価の平均は 92.7% (昨年比 -1.9)

※調査項目数を削減し、内容も一部修正した (項目数は昨年比 -21)

○肯定的な評価が特に高い項目 (98%以上)

- ・本校は、指導重点への取り組みを通して、教育目標が実現されている。 98% (+4)
- ・長期的見通しに立って、施設・設備の点検・維持・管理が行われている。 100% (+4)
- ・SSHの活動は広く認識され、地域や保護者に関心もたれている。 98% (±0)
- ・全校集会、年次集会、HR等を通して、交通安全や生徒の規範意識を育てている。 100% (+6)
- ・「いじめ防止」に対する指導が、全教職員の共通理解のもと、計画的に実施されている。 98% (-2)
- ・本校は、入学式・卒業式・全校集会など儀礼的行事を通し、学校の一員としての意識を自覚させている。 100% (+2)
- ・部活動や各種委員会の活動が活発に行われている。 100% (±0)
- ・本校は、三者懇談及び二者懇談を通じて、進路指導を適切かつ十分にしている。 100% (+6)
- ・英国語学研修・留学等に関する情報提供が十分になされている。 98% (±0)
- ・年次当初の集会・HRだけでなく、年間を通じて学校生活に対する適切なガイダンスを行っている。 98% (±0)
- ・本校は、家庭との連絡や三者懇談を通して、相互理解が図られている。 100% (+2)
- ・保健室が学校の健康管理センターとして機能し、生徒の実態や情報の共通理解がなされている。 100% (±0)
- ・生徒が健康に対し問題意識を持つような指導が行われている。 100% (+2)

●肯定的な評価が低かった項目 (80%未満)

- ・本校は、シラバス・学習計画表を履修ガイダンス及び学習指導に対し、効果的に活用している。 75% (-10)
- ・あなたは、Classi や FINE 等の教育情報コンテンツを有効に活用している。 73% (-10)
- ・あなたは、教科指導やHR指導で図書館を有効に活用している。 61%

◎昨年より肯定的な評価が10%以上上昇した項目

- ・教職員同士が気軽に相談できる雰囲気を作られている。 89% (+21)

(3) 保護者アンケート結果の概要について

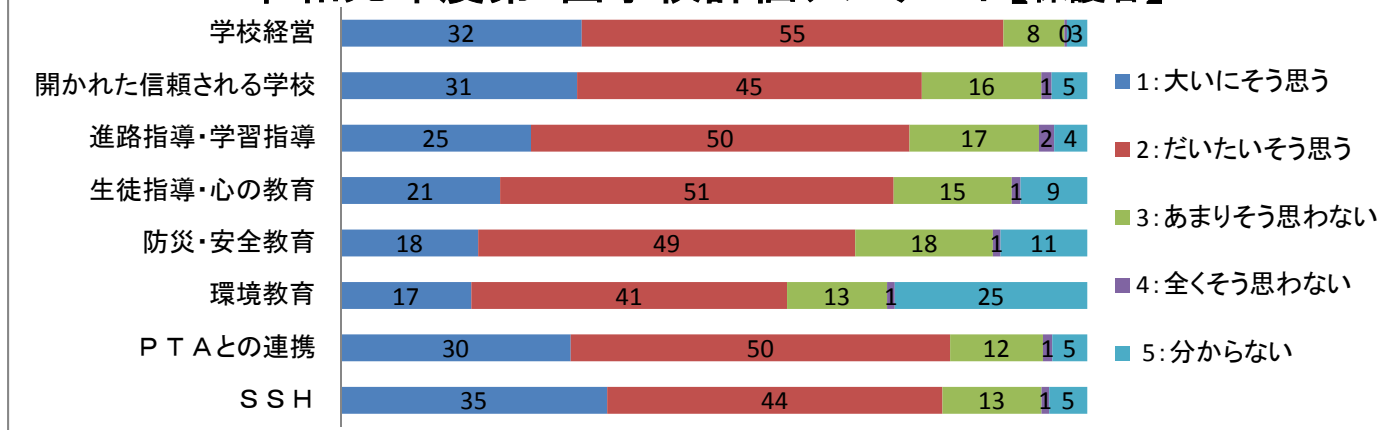
○対象保護者数：692名

○回収者数：650名 (回収率93.9%)

○質問項目数：19

○質問項目を評価項目ごと分類・集計した結果は次のとおり。

令和元年度第2回学校評価アンケート【保護者】



※調査項目 19 項目で、肯定的な評価の平均は 78.2% (昨年比 -4)

※調査項目数を削減し、内容も一部修正した (項目数は昨年比 -19)

○肯定的な評価が特に高い項目 (90%以上)

- ・本校は、学習活動・学校行事・部活動等において特色ある教育を行っていると思いますか。 90% (-4)
- ・本校は、学校行事が計画的に行われていると思いますか。 94% (±0)
- ・あなたのお子さんは、明るく充実した学校生活を送っていると思いますか。 91% (-1)
- ・あなたは、本校のホームページやブログの存在を知っていますか。 94% (-1)

●肯定的な評価が低かった項目 (80%未満)

- ・本校は、豊かな心を持つ生徒を育てていると思いますか。 77% (-10)
- ・本校は、学校生活や社会生活に必要な規範意識を高める教育を進めていると思いますか。 77% (-11)
- ・本校は、避難・防災計画を生徒や保護者に分かりやすく伝えていると思いますか。 56% (-16)
- ・本校は、いじめのない学校づくりに向け、組織的に取り組んでいると思いますか。 66% (-8)
- ・本校は、進路指導の年間計画をわかりやすく説明していると思いますか。 72% (-5)
- ・SSHの研究指定は、日川高校の魅力の一つになっていると思いますか。 79% (+5)
- ・ゴミの分別、節電・節水など環境教育の視点から適切な指導が行われていると思いますか。 58% (-8)
- ・本校の教師は、一人一人の生徒の理解に努め、生徒の自律性・自主性を高めるような指導を行っていると思いますか。 74% (-5)
- ・本校の教師は、必要に応じて家庭と連絡を取れる態勢を作っていると思いますか。 79% (-3)
- ・あなたのお子さんは、学校からの学習課題に積極的に取り組んでいると思いますか。 78% (-1)
- ・学校からの通知や案内などの配布物は、お手元に届いていますか。 74% (-1)
- ・あなたは、お子さんの担任や年次の先生方との間に信頼関係ができていると思いますか。 76% (-3)

3 学校評価考察

生徒、教職員の学校改善・点検シート結果は、概ね昨年度と同様であったが、保護者の結果は、昨年度に比べて総じて下がっているなか、とくに「豊かな心を持った生徒の育成」や「規範意識を高める教育」については、肯定的評価が10%以上上がった。この点については、今年度の生徒指導上の問題が反映されているとも考えられ、次年度以降、生徒、教職員に「人を思いやること」や「規律と責任を重んじ」ること、「社会の有為な形成者」となることなどを改めて徹底するなかで、生徒・保護者・地域の信頼回復を目指していきたい。

このような状況の中で、学習面では、教職員が大型テレビやパソコン等のICT機器を活用したり、学びあいや教えあいを取り入れたりして、授業を工夫・改善し、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現しようとしている。そうした取り組みに対し、生徒も肯定していることが窺える。その一方で、家庭での学習時間を肯定している生徒は5割強であり、課題を残している。家庭学習時間の確保に向け、Classiを活用し、クラスごとの集計データを可視化し、担任による個別の声掛けや年次全体での情報共有に努めている。進路面では、様々な進路情報が提示されていることを100%近い生徒が肯定しているものの、説明会や1日体験に参加する生徒は8割を切っている。このことはキャリア教育の視点からも改善していく必要があると考える。

次に、SSHでは、教職員・生徒・保護者ともに、評価は年々右肩上がりとなっている。これはSSH活動に全校で取り組んでいる成果であり、生徒が探究活動である課題研究に取り組むことで、学習意欲を向上させたり、課題を発見したりする能力の育成につなげていきたい。そのためにも、課題研究の質を高め、峡東地域の地の拠点となるべく、その成果を外部へ発信することで、生徒の自己肯定感を高めていけるよう、さらに努力していく必要がある。

また、保護者は、本校の教育活動に高い関心を持ち、協力的であることは本校の強みであり、様々な教育活動を進めるうえで大きな原動力となっている。保護者との信頼関係を維持していくためには、学校が安全・安心な場所でなければならない。加えて、校内の情報を積極的に公開するなど、開かれた学校づくりといった視点が欠かせない。そのため、学校安全の観点から学校施設・設備を点検し、整備していくことに取り組んでいくことと保護者の学校改善・点検シートで、10%以上の保護者が「わからない」と回答した質問項目については、質問内容を見直していくことが必要だと考える。

教職員においては、日々の学習指導や部活動指導に加え、不登校や多様な生徒への対応などもあり、本校は負担がとくに増えているなか、様々な状況に対し、生徒・保護者と常に前向きに向き合ってくれていることが窺える。しかしながら、働き方改革が課題とされ、教職員のメンタルヘルスについて注意していく必要があるものの、「教職員同士が気軽に相談できる雰囲気がつくられている」と回答した割合が、前年や7月よりも増えていることは、「チーム日川」という意識が醸成されつつあると考える。

最後に、「文武両道」を基軸とする本校の教育目標・指導重点は、保護者や地域の方々にも広く認識され、教職員はその支援のもと、教科指導、生徒指導、進路指導及び部活動指導に熱心に取り組んでいる。この強みを生かして、生徒に高い目標を持たせ、それを実現させるために、質の高い教育活動を展開していく必要がある。また、県内の中学校卒業生数（見込み）が減少を続けていくなか、中学生にとって魅力ある学校でなくてはならない。そのためにも、特色を生かした教育活動を継続しつつ、変化に応じて対応していくことで、保護者や地域の方々との信頼関係を揺るぎないものとしていくことが必要であると考えられる。

4 課題と改善に向けて

(1) 課題

① 生徒

- ・主体的かつ計画的な学習への取り組みについて（家庭学習時間の確保）
- ・キャリア教育への意識付けと充実について
- ・図書館の有効活用について

② 教職員

- ・Classi などの I C Tの有効活用について
- ・生徒の進路意識の高揚と学習への動機づけについて
- ・教職員の働き方改革（多忙化改善）とメンタルヘルスについて

③ 保護者

- ・生徒の心（規範意識）の育成について
- ・避難・防災計画の周知について
- ・学校と家庭が連携した生徒指導について
- ・進路情報の提供や進路計画に関する説明について
- ・環境教育の周知について

(2) 改善に向けて

① 新学習指導要領が求める資質・能力の育成

- ・知識及び技能の習得
- ・思考力、判断力、表現力等の育成
- ・学びに向かう力、人間性等の涵養

② 授業改善、授業力向上、I C T活用

- ・I C T機器を活用した授業展開
- ・学びあい、教えあいの場面設定の充実
- ・何ができるようになったのかといった振り返り

③ 家庭学習時間の確保に向けた取組

- ・学習と部活動とのバランス及び下校時刻の徹底
- ・課題に対する意識付けと各教科での課題量の調整
- ・Classi への家庭学習時間記録の徹底

④ 進路指導

- ・S S Hと連動した進路意識高揚
- ・模試データ等の教科、年次、部顧問による情報共有と各担当からの声掛け
- ・キャリア教育に関する各種体験への積極的な参加呼びかけ

⑤ 信頼される学校

- ・安全・安心な学校づくり（危機管理）の徹底
- ・学校と家庭との連携

⑥ その他

- ・生徒数減少に応じた部活動体制の構築
- ・広報活動の充実による受検生確保
- ・S S H関連行事の充実と積極的な広報活動